

将来の船員確保・育成のために 就業体験、体験学習を実施



【運輸部】

Point

沖縄若年内航船員確保推進協議会（事務局：沖縄総合事務局 運輸部）は、若年内航船員の人材確保・育成のため、就職段階の高校生、進路段階の中学生、理解醸成段階の小学生、各段階に応じたバリエーションのある取組を行っております。

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活及び経済活動並びに観光振興などに欠かせないものとなっている中、今後の安定的な海上輸送を確保するにあたっては、海上輸送を担う人的基盤たる船員の安定した確保育成が必要不可欠です。特に船員供給源が国内に限定されている内航海運においては、年齢構成を見ると50歳以上の割合が5割と高い状況になっており、数年後には船員不足が生じると予測され、海上輸送を維持・発展させていくためには、若年の内航船員の確保が喫緊の課題になっています。

沖縄県においても全国と同様な傾向があるため、沖縄若年内航船員確保推進協議会では、内航船員の仕事に興味を持つきっかけを作り、将来、内航船員の職業を選択してもらうため、段階に応じた各種取組をおこなっています。

就職段階の高校生に対しては夏休み期間の7月24日～8月27日に沖縄水産高校及び宮古総合実業高校、八重山商工高校及び八重山農林高校の生徒を対象に県内の内航船（貨物船、旅客フェリーなど）で「就業体験（インターンシップ）」を実施しました。

進路段階の中学生に対しては同じく夏休み期間の8月3日に沖縄



体験学習（エンジン見学）



体験学習（船内見学）



体験学習（操船シュミレーター）



就業体験（曳船）



就業体験（曳船船橋）



就業体験（フェリー機関室）

水産高校及び実習船（海邦丸五世）において、県内の中学生及び保護者、教師などを対象に船員の仕事についての説明、学校施設の見学、実習船「海邦丸五世」の見学、将来の沖縄を担う船員になるために県内の水産高校でどのような資格を取得することができるのかなどの「体験学習」を実施しました。

また、12月には小学生対象の「海事教室」も実施予定で、今後とも、引き続き海事思想の普及・啓発活動を含め、若年船員の人材確保・育成に関する取組を積極的に推進していきます。